口絵 2 : 小起伏面の分布からみたトルコ、トロス山脈の隆起と地形発達

Tectonic Deformation and Geomorphological Development of the
Toros Mountains, Southern Turkey Viewed from Distribution of
Large-Scale Low-Relief Surfaces

写真 1 小起伏面の眺め

小起伏面は非常に平坦であり、谷を挟んで小起伏面の連続性がよい。谷底と小起伏面との比高は1,000 m 以上に達する。写真 1～8 の撮影位置は本文図 2 に示す。

写真 2 個々の小起伏面は、縁を急崖で囲まれ、テーブル状を呈する。

写真 3 中新世中期の浅海性の石灰岩 (Mo)

場所は Taskale 付近。凹部は、柔らかい泥質な地層をくり抜いて作られた住居跡。層理面と平行なスカイラインは D タイプの小起伏面を示す。

写真 4 中期中新統 (Mo) 上に発達するドリーネ密集型 (Doline type) 小起伏面

写真 6 中新世前期の浅海性の石灰岩 (Ma) 上に発達する平滑型 (Smooth type) 小起伏面

写真 5 白亜紀の浅海性の石灰岩上に発達するドリーネ密集型 (Doline type) 小起伏面

写真 7 前期中新統 (Ma) を切って発達する小起伏面

Ma (の層理面) は、僅かに北へ傾斜しており、水平なスカイラインによって示される D タイプの包絡面とは、 $3-5^{\circ}$ 斜交している。

写真 8 高位段丘面 (H surface) とその構成層

真白い石灰質細粒物からは、巻貝化石 (本文図 8) が産出する。

(須貝俊彦)

(Toshihiko SUGAI)